

救急救命士科 3つのポリシー

ディプロマポリシー（卒業までに身に付けるべき資質）

病院前医療（プレホスピタルケア）に関わる即戦力人材になることを養成目的としています。

1. 救急救命士国家試験および実技認定試験に合格することで、現場で必要とされる知識・技能を身に付けている。
2. 学内の教育プログラムで社会人基礎力を、外部実習等で人間力を身に付けている。
3. 傷病者のみならず関係者の不安や悲しみを感じ取れる感性を身に付けている。
4. 医療人として、安心・安全を提供し広く社会に貢献するマインドを身に付けている。
5. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身に付けている。
6. 上記のマインド・知識・技術について継続的にキャリア開発をし続けることができる。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成、実施方針）

ディプロマポリシーと「建学の理念」「4つの信頼」を達成するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと国際教育のプログラムを提供します。

1. 国家試験に合格し、救急救命士として活躍出来る知識・技術はもちろん、消防機関で活躍できるよう公務員試験に合格できる学びを提供する。
2. 産学連携による実習授業を通じて、医療人として必要な「身構え・気構え・心構え」およびコミュニケーション力を身に付ける。
3. 確実に国家資格を取得し、卒業後のキャリア開発への向上心を持続するために基礎学力の向上を図るプログラムと、自ら考え、自分で勉強する力を養う能動型の授業（アクティブラーニング等）を提供する。
4. キャリア設計の支援プログラムと海外研修を中心とした国際人としての基礎プログラムを提供する。

アドミッションポリシー（求める人材像）

救急救命士科は「救急救命士国家資格」を取得し、消防機関で活躍する強い意志と向上心を持ち、人と接する上で問題なくコミュニケーションを図れる以下の人材を受け入れます。

1. 「救急救命士」を目指す明確な動機を持ち、目標を達成するための努力ができる人。
2. 消防機関で活躍することを強く望み、目標を達成するための努力ができる人。
3. 医療分野の学びに取り組む基礎学力を持つ人。
4. 基本的なコミュニケーション能力を持つ人。